

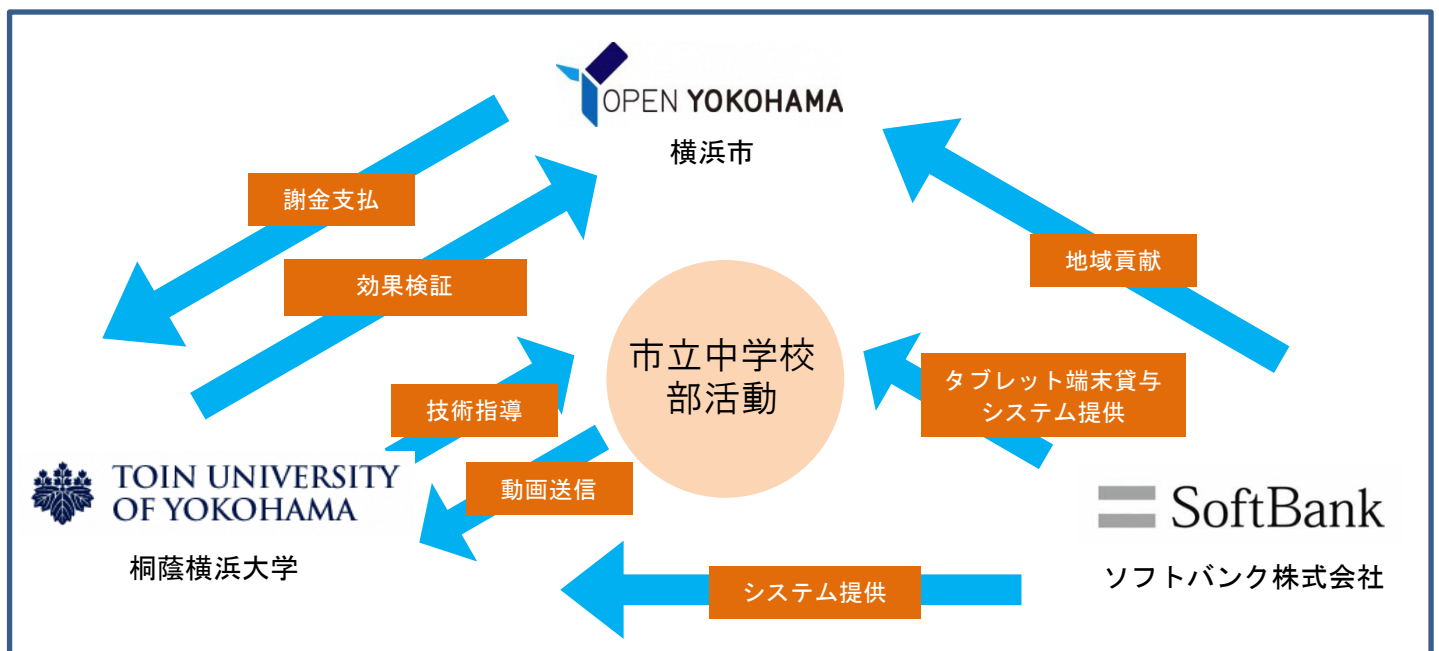
「産学官協働による ICT を活用した部活動支援」 中学校部活動の遠隔技術指導に取り組みます

本市では、中学校部活動の充実と教職員の負担軽減などを目的に、顧問を担うことができる「部活動指導員」を学校に配置するなど、部活動支援に取り組んでいます。

今後は、「外部人材を配置するほどではないが、自らの競技経験のない部活動の顧問を担うことへの不安や負担」を感じている教職員への支援が必要と考えます。

このような教職員の精神的な負担を軽減し、併せて、生徒がより専門性の高い技術指導を受けられるよう、ICT を活用した部活動の遠隔技術指導を試行実施します。

1 事業概要



事業のイメージ

- ① ソフトバンク株式会社は、中学校に対してタブレット端末を貸与し、中学校と桐蔭横浜大学に遠隔指導システムを提供します。
- ② 桐蔭横浜大学は、部活動の種目に応じて、段階的に技能を習得するためのステップを組み立てて（技能構造マップ）、ケガをしにくく、効率的・効果的に部活動に取り組むことができる体づくり（体づくり運動プログラム）を加えた「学校向け遠隔地支援システム」を構築・提供します。
- ③ 中学校では、部活動で生徒が活動している様子を動画で撮影し、遠隔指導システムにアップロードします。
- ④ 桐蔭横浜大学は中学校部活動からアップロードされた動画の内容を確認し、指導コメントや動画を作成して、システムにアップロードします。
- ⑤ 中学校では、生徒が指導コメントや動画を確認することで、自分たちのスキルアップや、目標達成を目指して取り組みます。

2 事業のポイント



教員の負担

部活動の指導に「遠隔指導」を取り入れることにより、自らの競技経験のない教職員の技術指導に係る負担軽減を図ります。

生徒の主体的な活動につなげる

生徒が自らの体力や技術を「技術構造マップ」等で把握することで、解決すべき課題や達成したい目標を定めることができます。

動画を通して自分自身の動作を客観的に把握したうえで指導を受けることによって、自ら課題を解決する力を育むなど、思考力・判断力・表現力を高め、部活動に自主的・自発的に取り組むことが期待できます。

学生の指導力向上

本事業では教員を目指す学生が指導を行います。学生にとって、大学で学んでいる専門的な知見を取り入れながら、中学生への指導に携わることは貴重な経験であり、学生の実践的指導力の向上や人材育成につながります。

3 対象校等

対象校 市場中学校（鶴見区市場下町1-1） 学校長 根岸 淳
対象部 サッカー部（生徒15名 顧問2名）
時期 令和元年9月1日から令和2年3月31日まで（令和2年度の詳細は未定）

対象校部活動の活動等について取材をご希望の際は、下記まで事前にご連絡をお願いします。

お問合せ先	
教育委員会事務局小中学校企画課長	石川 隆一 Tel 045-671-3233